自然体験を通して、親子の交流促進と災害時に生き抜く力を養う

ネイパル足寄

はじめてのファミリーキャンプ

1　事業のねらい

アウトドアキャンプを通して、余暇活動の楽しみ方や災害時に役立つ知識・技能を習得するとともに災害に対する自助・共助の意識を高め防災教育の推進を図る。

2　事業の概要

■期日　R6.7.27.28
■対象　未就学児～小学３年生及びその家族
■人数　20 家族 58 名
■場所　ネイパル足寄
■協力　snowpeak 十勝ポロシリキャンプフィールド

3　プログラム

	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
1日目	12:30-13:00 受付							開会式	オリエンテーション	テント設営	みんなで作ろう！アウトドアクッキング			後片付け	入浴 自由時間	就寝準備	就寝
2日目	起床	洗面等	テント清掃	あっ！という間にできる朝食作り	テント片付け	ふりかえり	閉会式	１１：３０解散									

4　ねらいを達成するための活動の工夫

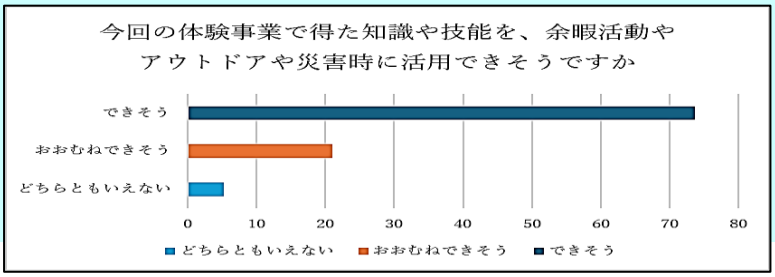
■自助や防災の意識を高めるためのキャンプ飯づくり
・災害時において、水をあまり使用できない状況であることを想定し、トマト缶だけ使い水を使わず美味しく食べられるキャンプ飯づくりの体験ができるよう工夫した。
■共助の意識を高めるためのプログラム
・テント設営や片付けなど参加者と協力し合うように進めていき、助け合いなどの共助の意識を高める活動を取り入れた。

防災意識を高める調理体験

共助の意識を高めたテント設営

5　事業の評価

■事業アンケートから、「今回の体験事業で得た知識や技能を、余暇活動やアウトドアや災害時に活用できそうですか」という項目においての解答で肯定的意見が９割であった。参加者からは「災害時でも助け合うことの重要性を知った」「水が無くても美味しいカレーを作れることを知った」と防災に繋がることが多かった。また、「家族でキャンプに行く際の参考になった」「日常では味わえない体験ができた」といった、余暇活動を通しての楽しみ方などの意見が寄せられた。



6　ねらいを踏まえた成果と課題

●自助・共助の意識を高めるプログラムを取り入れたことで参加者同士が協力し、助け合いながらプログラムを進めることができた。また災害に備えて水や電気が使えないと想定した上で調理をしたことで、災害に対する意識を高められた。
○一家族のみで活動する班と、二家族で活動する班で分けたが、活動時間に偏りが出てしまった。時間に余裕のあるプログラムを設定していく。

企画のポイント

テント設営やキャンプ飯調理などでの活動を通して、家族の防災の意識を向上